

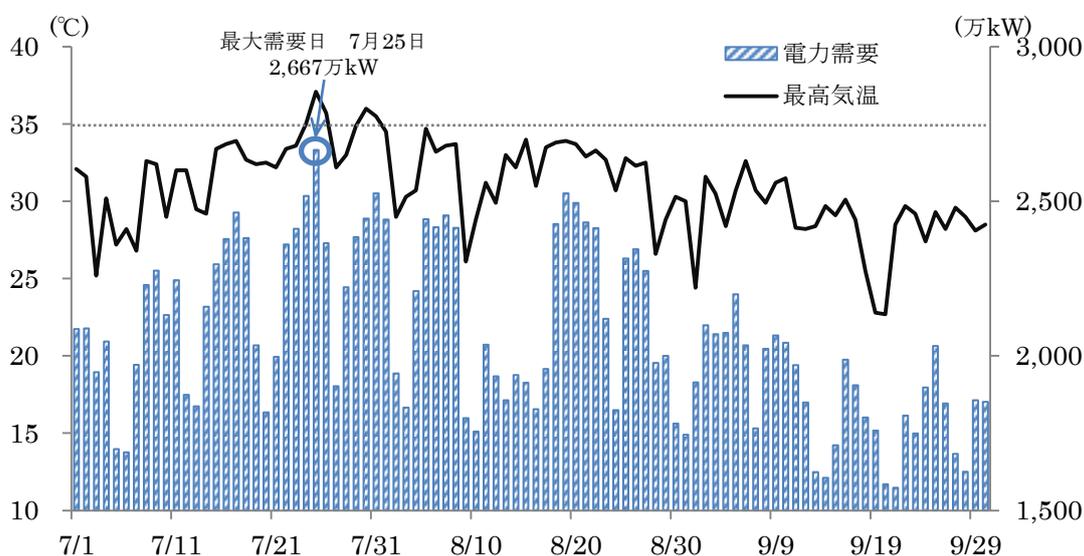
関西電力管内における平成26年度の夏の電力需給実績検証結果等について

平成26年10月29日
関西広域連合エネルギー検討会
電力需給等検討会議

関西電力管内における平成26年度の夏の電力需給実績や対策の実施状況については、以下のとおり。

1 電力需給の概要

- ピーク時需要については、4月の電力需給見通し検証時に、一定の節電量（平成22年度夏比▲9%）を見込むとともに、昨夏並みの猛暑を想定し、2,873万kWと算出した。
- 今夏の気温については、7月下旬に気温が35℃を超える猛暑日があったものの、8月は猛暑日がないなど、昨夏に比べて暑さは緩やかだった。
- 今夏の節電実績については、昨夏実績（平成22年度夏比▲11%）以上の節電を呼びかけ、期間の平均節電量が約▲13%となった。
- 懸念されていた火力発電所の計画外停止等については、発生件数が昨夏より少なく、需給に大きな影響を及ぼすものはなかった。
- これらのことから、今夏の最大需要の実績は、7月25日（金）の14時台の2,667万kW（ピーク時の需要想定より▲約200万kW）、これに対する供給力は2,822万kW（使用率94%）となるなど、期間を通じて電力需給は安定して推移した。



日最高気温（大阪管区气象台）と電力需要

2 電力需給対策の概要

関西広域連合では、昨夏実績以上の節電を呼びかけるとともに、家族でお出かけ節電キャンペーンや、構成府県市の率先取組、需給ひっ迫を想定した体制整備等の対策を実施した。

○ 節電の呼びかけについては、

- ・ 国や関西電力と連携し、節電要請期間初日の全構成府県市による一斉街頭啓発や、企業や経済団体等への節電取組の要請
- ・ 公共施設や集客施設でのポスターの掲示、イベント等を通じてチラシの配布
- ・ 関西経済連合会と連携した企業従業員家庭への働きかけ など

○ 家族でお出かけ節電キャンペーンについては、

- ・ 美術館や博物館、ショッピングモール、スポーツ施設等に呼びかけて割引やイベント等を実施するとともに、関西電力の実施する「みる電出かけて COOL プロジェクト」と連携。〔参加施設数2,045施設〕
- ・ 公共施設、駅、バス停などでチラシの配布やポスターを掲示 など

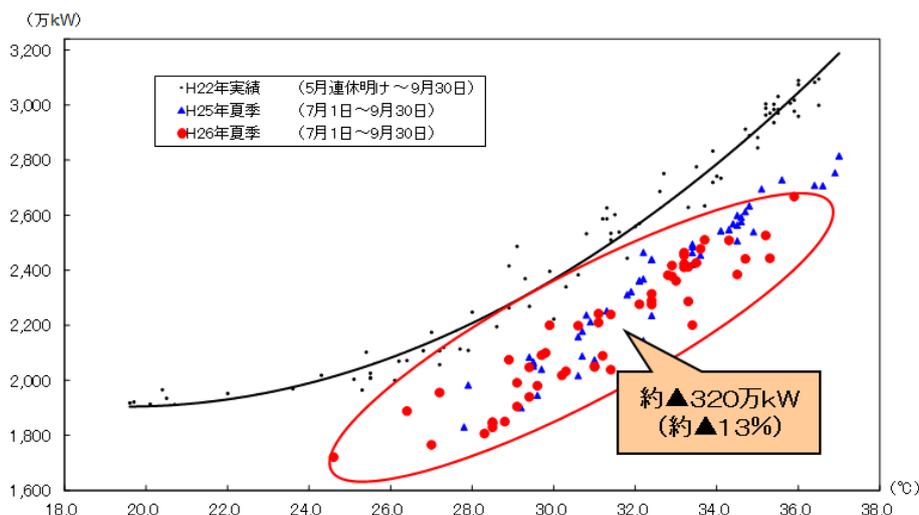
○ 構成府県市の率先取組として、照明やエレベータの間引き、空調温度管理の徹底、関西夏のエコスタイルの徹底、ノー残業デーの徹底 など

〔参考 関西電力の主な取組〕

- ・ 自治体及び近畿経済産業局と連携した節電PRの実施
- ・ ホームページやフェイスブック、検針票裏面等を活用した節電のお願いや、ホームページ等による毎日の電力需給状況のお知らせ
- ・ 電気使用量のお知らせサービス（はぴeみる電）による節電・省エネの促進
- ・ 火力発電所の定期点検の延期や、新規設備の前倒し運転、計画外停止の未然防止に向けた保守等の強化 など

3 節電実績について

- 今夏は、昨夏実績（平成22年度夏比11%減）以上の節電の着実な実施を呼びかけた。
- ピーク時間帯（14～15時）の電力需要について、今夏と平成22年度夏を比較すると、平均節電量は平成22年度夏比約▲13%であり、昨年実績を上回る節電が確認された。



ピーク時間帯（14～15時）における電力需要の平成22年度夏との比較

1 節電の呼びかけ内容

今夏の節電の呼びかけ内容

昨夏実績以上の節電の実施

(※ 昨夏の節電実績：平成22年度夏比11%減)

- 期間：平成26年7月1日（火）～平成26年9月30日（火）の平日
（8月13日（水）～15日（金）を除く）
- 時間：9：00～20：00
- 留意事項
 - 〔家庭〕
 - ・ 高齢者や乳幼児、体調が悪い方のおられるご家庭には、熱中症など健康上の支障をおよぼさない範囲での節電をお願いします。
 - 〔産業・業務〕
 - ・ 産業活動や病院、福祉施設、鉄道などのライフライン機能、都市機能等の維持に支障を生じない範囲での協力をお願いします。

2 関西電力の主な計画外停止等とトラブルの件数

時期	発電施設	計画外停止等の概要
7/3～7/6	御坊1号（60万kW）	タービン設備の損傷による停止
7/13～7/14	姫路第二5号（60万kW）	タービン設備の損傷による出力抑制
8/10～8/18	南港2号（60万kW）	冷却水取水設備のつまりによる停止
8/20～8/30	姫路第二6号（60万kW）	ボイラ配管の蒸気漏れによる停止

3 主な電力需給対策

対策の種類	主な内容
節電の呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> • 国（近畿経済産業局）、関西電力と連携し、全構成府県市が節電要請期間初日に一斉に街頭啓発 • 公共施設や集客施設でのポスターの掲示及びセミナー、イベント等を通じてチラシを配布 • 国、関西電力と連携し、企業、経済団体、国出先機関等に節電取組や啓発協力を要請 • 経済団体、商工会議所等への節電チラシの配布や会報誌への掲載等 • 関西経済連合会と連携した企業従業員家庭への働きかけ • テレビ、ラジオ、広報誌、ホームページ、メルマガ等、構成府県市の発信ツールの活用
家族でお出かけ 節電キャンペーン <small>※夏の昼間に家庭の電気を消して家族全員で身近な施設に出かけることを呼びかけ</small>	<ul style="list-style-type: none"> • 美術館や博物館、ショッピングモール、飲食店、スポーツ施設、公園等に、割引やプレゼント、特別企画、イベント等の協力を得るとともに、関西電力の「みる電出かけてCOOLプロジェクト」と連携して実施。〔参加施設数2,045施設〕 • 公共施設、電車内、駅、バス停などでキャンペーンチラシの配布やポスターを掲示 • 環境省のクールシェア事業と連携して周知
主な率先取組	<ul style="list-style-type: none"> • 照明やエレベータの間引き、空調温度管理の徹底 • 関西夏のエコスタイルの徹底 • ノー残業デーの徹底、サマータイムの実施など • LED照明やLED信号機等、省エネタイプの機器の率先導入 • 見える化設備やBEMSの導入、省エネチューニング等による電力需要の抑制
電力需給ひっ迫時の対応	<ul style="list-style-type: none"> • 万一の電力需給ひっ迫時の緊急連絡体制を整備

<p>(参考) 関西電力の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 関西電力管内全自治体への今夏の需給および対策の説明 • 自治体及び近畿経済産業局と連携した節電PRの実施 • ホームページやフェイスブック、検針票裏面等を活用した節電のお願いや、ホームページ等による電力需給状況のお知らせ • 電気使用量のお知らせサービス（はぴeみる電）の登録者拡大による節電・省エネの促進 • 毎日の電力需給のお知らせ（でんき予報） • 「みる電出かけて COOL プロジェクト」（需給ひっ迫時などに協力企業約 500 店舗で使えるクーポンを発行し、外出を促進することによりピーク電力を抑制）の実施 • 火力発電所の定期点検の延期や、新規設備の前倒し運転、計画外停止の未然防止に向けた保守等の強化 • 計画調整特約によるピーク時の負荷調整等 • 電力需給ひっ迫時に備えた取組み（メールによる自治体・顧客への連絡体制の整備、卸電力取引所からの調達や他電力会社からの更なる応援融通など供給力の最大限確保に向けた取組、瞬時調整特約や通告ネガワット特約の活用、BEMSアグリゲータとの協業による需要抑制の取組）
--------------------------	--

4 ピーク時間帯（14～15時）における分野別の電力の平成22年度夏からの減少

	平成22年度夏 からの減少量	平成22年度夏 からの減少率
産業	約▲115万kW	約▲12%
業務	約▲135万kW	約▲13%
家庭	約▲70万kW	約▲14%
計	約▲320万kW	約▲13%